

平成26年度 第2回 米子市まちづくり活動支援交付金審査委員会議事録（概要）

【プレゼンテーションの事前打ち合わせ】

○事務局

そういたしますと、ただいまから、平成25年度第2回米子市まちづくり活動支援交付金審査委員会を開会します。

本日の会議は、米子市審議会等会議公開指針に基づき一部公開とします。

審査委員による評価の取りまとめにおいては、その過程を公にすることにより、委員会としての率直な意見の交換および意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあるとの理由により、評価のとりまとめに入りましたら、そこから先は非公開とさせていただきたいと思えます。

本日の会議ですが、8名の委員全員が出席されていますので、米子市まちづくり活動支援交付金交付要綱第16条第3項の規定により、本会は成立することを報告します。

そうしますと、ここからの議事の進行については、米子市まちづくり活動支援交付金交付要綱第16条第1項の規定により、星野委員長にお願いしたいと思えます。星野委員長、よろしくお願いいたします。

○委員長（議長）

議長の星野です。本日は第2回のまちづくり活動支援交付金審査委員会にお集まりいただきありがとうございます。今回は9件というたくさん申込がありました。内容を読みますと今の少子高齢化とう社会の中いかに地域を盛り上げようかということが感じられます。9件ということで非常にタイトな日程になっておりますが、皆様のご協力をお願いします。

○事務局

※次の2点について説明。

- (1) 事業応募状況及び書類審査の結果について
- (2) 審査の進行及びスケジュールについて

○委員長（議長）

事務局の説明に関して、何か質問がございますでしょうか。

（特に意見なし）

それでは、これで事前打ち合わせを終わり。それでは、「平成26年度米子市まちづくり活動支援交付金申請事業のプレゼンテーション」を開催します。

【プレゼンテーション】

○委員長（議長）

そういたしますと、「勝手連」の皆さん、発表をよろしくお願いいたします。

(申請団体1)

勝手連

(事業名)

史跡散策ルートの歩道整備事業

(事業概要)

米子市橋本地区の伝説や歴史を、地域住民の方が理解を深め、かつ地元の宝として引き継がれることを目的に、季節感が溢ふれ、市民の方々が気軽に登り、参拝ができる史跡散策ルートの歩道の整備を行う。
(質疑応答)

○委員

先ほどの発表の中で市民のみなさんということがありましたが、市民の皆さんは、米子市全体ですか。それとも校区の方ですか。

○申請団体

米子市民全体です。今も校区外からも来られています。誰でも気軽に来ていただけたらと考えています。

○委員

2点質問します。自己資金が大変乏しいなか、次年度以降の活動をどのように継続されるつもりですか。もう1点は、伯耆文化研究会というところが、西部地区の小中学校の地域研究発表会を開催しています。その中で成実小学校の児童が成実の神話という発表をしています。そのような子ども達も一緒になった地域世代間交流は考えておられますか。

○申請団体

資金づくりにつきましては、大きな資金をつくり大きな事業をるところまでは考えていません。自分達のできる範囲で花を植えたりとかというような地域の雰囲気づくりをしていこうと思っています。第2点目ですが、まだまだそのようなスケールの大きな事業が出来るところまで達していません。将来的にはそこまで出来たらいいなとは考えています。

○委員

順路板とありますが、どのようなものを考えておられますか。

○申請団体

最初は案内看板を考えていましたが、道が非常に入り組んでいる場所もあるので、矢印と目的地を示すようなものにしようと考えています。

○委員

この地域を市民の皆さんに伝えるというお話がありましたが、どのようにしてお知らせしようと考えておられますか。

○申請団体

マップ、チラシ等を公民館等においていただいたりしてPRしていきたいと考えています。まずは、地区の方に登って散策していただく。次に公民館などで地域の話などが出来るようになればいいなと考えています。

○委員

是非多くの方に来ていただけるようにPRしてください。

(申請団体2)

米子がいなバーガー普及実行委員会

(事業名)

第1回「米子がいなバーガー」称号決定！がいなバトル

(事業概要)

今後5年間を目標にその年ごとに「米子がいなバーガー」の称号を決定し、5年後には日本一のハンバーガーを目指します。またイベント後にはバーガーマップを作成し、40年以上続けてきた「よなごがいな祭」とその年の米子を代表するハンバーガーを地域の内外へ広く発信していく。

(質疑応答)

○委員

とっとりバーガーフェスタなどでもですが、この方法をとられると、トップをとった店舗だけが儲かるということになります。地域の店舗への波及効果は薄いような感じがします。今後5年間の間にやり方を変える考えはありますか。

○申請団体

今回は知名度も低く6店舗しかあつまらなかったが、次年度以降はさらに多くの店舗に参加してもらいたいと考えているので、限定された店舗だけが儲かるということにはならないと思います。また当日のみの販売にするとなかなか1日で6個も食べられないと思う。事前販売することで6種類のバーガーを食べただけだと考えています。また6種類食べなければ1票にならないということで、公平性を考えています。また企業の連携、地域の連携、人との連携を考える中、米子市民の総意で選ばれるということと合わせ持ってイベントを開催することで、この地域が潤うということも1つのテーマとしています。今回何票投票があるかわかりませんが、仮に1000票あれば、確実に各店舗のバーガーが1000個はうれていることになります。いろいろな意味で広く効果はあると思います。

○委員

今回は何店舗の応募があったのですか

○申請団体

こちらから声掛けをした店舗もありましたが30店舗は超えていました。

○委員

この6店舗は、どのようにして決められましたか。

○申請団体

条件がありまして、2品目の決められた食材、当日販売と事前販売、そのあたりで折り合いが付かなかったということと、あとこの地域の食材をどのくらい使われているか、この地域の食材をどのくらい発信

できているかに注目して、6店舗を決めました。

○委員

がいな祭との会計とは別ですか。

○申請団体

別会計です。場所を借りたりですか、広報等を一緒にしていただいたりはしています。

○委員

米子の若い人達がいろいろなことを思いついて、実行されることは大変おもしろく、よいことだと思います。そういう意味からも応援したいと思います。

(申請団体3)

住吉地区人づくり地域づくり協議会

(事業名)

住吉地区人づくり地域づくり協議会・防災協議会

(事業概要)

住吉地区が健康で文化的な地域であることを願い、自分の考えや判断で作り上げる住みよい地域をつくることを目的に、今年度は防災意識を高め、地域防災力を高めるため、防災講演会、避難訓練、防災広報誌の発行を行う。

(質疑応答)

○委員

住民の方を巻き込んで楽しみながら行うということでしたが、例えば消火栓の確認をウォークラリーのようにして行うとか、老若男女の方を取り組んで行うような計画があるのかどうか、お聞きしたい。

○申請団体

将来的は考えていきたいと思いますが、現在は、どこに危険があるのかまだわからない状況なのでそのあたりを皆で協議しながら進めていきたいと考えています。

○委員

自主防災組織等の立ち上げにより補助金が出るはずであるが、あえてまちづくり活動支援交付金に申請されたのは、どうしてですか。

○申請団体

住吉地区は、自治会加入率が低く、自治会未加入の方がたくさんおられます。そういう方々にも防災の重要性を知っていただきたいし、ゆくゆくは自治会にも加入していただきたいと思っています。自治会以外の方にも防災意識を高めて行って頂きたいと考えています。そこで公民館運営協議会が中心となって行なっています。

○委員

高齢者、独居の世帯などは把握していますか。

○申請団体

要支援者については、個人情報に関係があり、名前が出しにくいので、ある地区では図面に名前は書かずに、星印を付けているところもあります。

(申請団体4)

米子ヤマモモの会

(事業名)

米子ヤマモモの会

(事業概要)

ヤマモモ自生林を調査記録する。また古老よりヤマモモに関する情報を聞き取り、後世に引き継ぐ。あわせてヤマモモの加工活用の可能性を検討する。

(質疑応答)

○委員

事業計画には分布図の作成、勉強会、看板設置となっていますが、この事業は校区内への普及などはないのでしょうか。また加工品ができた場合に収入はどこに入るようになるのか、考えておられますか。

○申請団体

どのようにしていいのかは、これから地域の方々と相談しながら考えていきたいと考えています。最初からあまり大きなことをしようとしても難しいと思います。

○委員

今回他の事業でも看板の作成があったのですが、この事業で作成する看板については、統一した企画で作成し、この事業で作成したことがわかるようにしたらよいと思いました。

(申請団体5)

まちなか歩こう会

(事業名)

小路輝き事業

(事業概要)

旧市街（大工町～灘町）の小路案内板の作製、小路巡りマップの作製、案内板、マップを活用した現地巡りを行い、地域の魅力の再認識、地域文化の見直し、再発見、観光振興、中心市街地活性化を行う。

(質疑応答)

○委員

米子市のホームページの左うえに「よなごまちなかなう」というのがありまして、そこにまちなか特派

員報告というのがありまして、こういうところに行ってきました、というようなことを紹介する場がありますので、そういうものを活用して発信されても良いと思います。

○委員

何か広報の手段は考えておられますか。

○申請団体

チラシを作ったり、他団体の連携、他団体のホームページで紹介していただいたりなどを考えています。

○委員

3月にイベントを予定されているようですが、具体的にはどのようなイベントですか。

○申請団体

若い人から高齢者の方まで幅広い方が参加できるように、春休み期間中にスタンプラリーのようなものを考えています。

(申請団体6)

住まいびと SANIN

(事業名)

第2回住まいるびとフェスティバル事業

(事業概要)

ものについて改めて考え、心の豊かさと環境など、これからのまちづくりを考える。特に環境に配慮した取組みを行っている者と市民とを繋げることで、自分たちの環境を家や地域から考え、環境に配慮したこれからのまちづくりを助長するための研修会、イベントなどを行なう。

(質疑応答)

○委員

事業の内容、目的などは今聞いてわかりましたが、事業名の「住まいるびと」と聞いても何のイベントなのかわかりません。せっかくのイベントの集客には、どうなのかなと思います。

○委員

先ほど高齢者の方はいろいろなことをよく知っておられるということでしたが、高齢者は若者に伝えたくてしょうがないと思います。いま会員が6名とのことでしたが、もっと幅広い年齢の方を集めて、いろいろなことを教えてあげてほしいと思います。

○委員

第1回は鳥取県の創造力の補助金を使われ、今回は米子市の交付金を申請されましたが、自己資金がゼロということで、来年度以降も継続していかれるのであれば、自己資金のことも考えていく必要があると思います。

○申請団体

昨年度は鳥取県、今回は米子市の交付金を申請しますが、今後は他団体との組織づくりで協賛等も考えていく必要があると思います。

○委員

事業の中に中海水質検査とありますが、中海の環境を考える団体は沢山ありますが、そのような団体と一緒にやることなどは、考えていますか。

○申請団体

まだそのような情報を探している最中で、繋がっているところと、繋がっていないところがあります。中海の水質については、私達が出来ることとして家庭からの排水ですとかを考えていきたいと思っています。繋がりがあえるところとは協力して、もっと広く周知していきたいと思っています。

○委員

会則には会費6000円となっていますがこれは何に使われるのですか。

○申請団体

研修会に行くための交通費ですとか、団体の経常的な活動の経費に使われています。

○委員

団体名に「SANIN」とありますが、団体の活動範囲は鳥取、島根ですか。

○申請団体

米子市だけで活動することは難しいと思います。やはり山陰が豊かになって、守っていかなくてはという意識があります。しかし今は会員が米子市の方なので、そういう意味からも米子市が中心となっています。

○委員

環境を考える団体は米子市内にもたくさんあります。今6人という会委員でいろいろなことをされようとしていますが、6人でやれることには限界もあります。他の団体との連携も考えてみてはどうでしょうか。

○申請団体

ものづくりという観点からいろいろな分野の方をつなげていく役割をしています。6人という構成人数ですが、とてもフットワークも軽く、もっとたくさんいなくては大変だというものでもありません。役割分担もはっきりしています。

(申請団体7)

県地区青少年育成会

(事業名)

次代を担うあがたっ子創造運動

(事業概要)

次代を担う子どもたちの育成のため、地域の子どもをもつ保護者とその子どもたちと、地域の歴史、環境問題、国際理解、子どもの適正などをテーマにした講演会を実施することで 地域の子どもを地域で育てるための大きなエネルギーとする。

(質疑応答)

○委員

県地区の中学生、高校生は何名おられますか。

○申請団体

小学生200人 中学生、高校生はそれぞれ100人、合計は約400人です。

○委員

予算をみると大人用の事業のように思われますが。

○申請団体

子ども達と子どもを育てる大人も含めて勉強したいと考えています。

○委員

この事業は近接する、春日、大高なども一緒になった事業にしようという考えはありませんか。

○申請団体

確かに春日、大高も一緒になった活動ができればいいと思いますが、今はまだできておりません。

○委員

計画の中で参加予定者が100人となっていますが、これは4回の研修会の合計ですか。

○申請団体

これはそれぞれの研修会が100人です。育成会の会員が50人、一般の親子が50人で合計100人の予定です。

(申請団体8)

観音寺新町1丁目自治会

(事業名)

ふれあい手作り看板の作成

(事業概要)

あいさつ運動の手づくり看板を子ども会、自治会、老人会等で共同して作成することで、地域住民が連携した連帯感と組織の熟成を計って美しい町の維持、安心・安全なまちづくりを行う。

(質疑応答)

○委員

具体的にはどのような事業ですか。

○申請団体

私達の町内に犬を連れて入ってくる方が、犬の糞の始末をせずにそのままにしておくため困っている。その対策として、その人達にあいさつをすることで、糞をそのままにしておく人を減らそうと考え、そのための看板を子供会、敬老会、自治会など共同で作成しようと考えています。

○委員

看板はどのようなものですか

○申請団体

あいさつ運動の看板です。あいさつをすることで、この問題を減らそうと考えています。

○委員

手作り看板はあくまで手段だと思います。これを作るために、文書を作成し、応募をし、作品を発表することで、住民相互の交流などを行うということですね。予算の中には、そのことがないように思いますが。

○申請団体

まず会議を開き、あいさつ運動をしようとうすることで決まりました。次に予算がないと何もできないので交付金へ申請することに決めました。

○委員

最終的にはモラルの向上を目指しているわけですね。

○申請団体

そうです。

○委員

2丁目など近隣の自治会と一緒にする考えはないのですか。

○申請団体

今のところ他の自治会からこのようなことで困っているとは聞いておりませんが、2丁目などと一緒にやりましょうというPRはできると思います。

○委員

看板づくりでは何の事業なのかわかりませんが、何か他にいいネームはありませんか

○申請団体

今はこれしか考えていませんが、他に何かいいネームがあればとは思いますが。

(申請団体9)

むきばんだ応援団

(事業名)

第15回山陰遺跡ネットワーク会議伯耆大会

(事業概要)「山陰の遺跡と人々の輪を繋げよう！」をスローガンに淀江の上淀廃寺跡や妻木晩田遺跡の貴重な歴史遺産を活用し情報発信して、市民への周知を図り、遺跡をもとにしたエコツーリズムの推進によるまちづくりと他地域との連携強化により、地域活性化を行う

(質疑応答)

○委員

次回このネットワーク会議が開催されるのは、先ほど13団体が加入されているとありましたが、13年後ですか。またネットワーク会議が終わったあとの来年度以降の活動について教えてください。

○申請団体

むきばんだ応援団の事業は、年間12回、有名な講師の方を迎えて勉強会を開催しています。1回あたり70名程度の参加者があります。これを続けていきます。あとは応援団として年1回の研修旅行をしております。また年1回は13団体で今回のような大会のような場所で、情報交換いたします。次回米子で開催するのは4年後になります。米子、出雲、松江、鳥取の4地域での持ち回りで開催しています。

○委員

このイベントは今週末ですが、もし今回交付金が通らなかった場合は、予算的に大丈夫でしょうか。

○申請団体

もし通らなければ、自己資金でなんとかできるので、ご迷惑をかけることはありません。

○委員

この大会には鳥取県とか教育委員会がからんでくると思いますが、そのあたりからの補助金等はないのですか。

○申請団体

名義後援だけです。

プレゼン終了

○委員長(議長)

時間になりましたので、質問を以上で終了します。発表されました方、ありがとうございました。

(各委員、審査評価表に審査結果を記入)

【審査の結果】

申請された全ての事業について、「採用（交付金の交付）が適当である」と判定された。

○委員長（議長）

以上を持ちまして、本日の全日程が終了しました。皆さん、お疲れ様でした。皆さんには、会の円滑な進行についてご協力いただきありがとうございました。

○事務局

そういたしますと、これで第2回米子市まちづくり活動支援交付金審査委員会を閉会します。委員の皆さん、ありがとうございました。